

爾比久良玉鋼会 打刀焼入鑑賞会実施のお知らせ



日時 **2010年3月6日（土） 午前10時～16時**

竹花繁久日本刀鍛錬所にて実施

会員で参加希望者は、事務局・鍛錬所まで先着順若干名です、詳細はHPを参照願います。会費4000円（昼食懇親会費込み）

焼き入れは、火造りを終えた刀身に焼刃土を塗りつけ刃の部分を固く焼き入れるようにすると共に、その土の塗り方によって独特な刃紋が形成されます。その焼刃土を自然乾燥させた後、刀身全体に焼き入れとなります。加熱温度を見誤らないように仕事場を暗くいたします。火床に深く刺し入れ元から先まで約800度にむらなく加熱します、十分加熱された刀身を火床から取り出し、水槽の上で一瞬静止して呼吸をとり合わせ一気に水中に入れます、水中の刀身は最初は刃の方向にうつむき、それから戻ってきます。刀身が十分に冷却したあと、水中から引き上げ、さっそく刀匠が荒砥石で研ぎ、焼刃を確認します。刃切れ等のキズがなく、思い通りの刃紋が出来ていたら、刀身を火床の残り火にて温度を上げて刀身ないのストレスを解放する焼戻しをいたします、これを「合取り」とも言います。焼が入った時に刀身は微妙に横に曲がるので余熱のある内に台の上で微修正いたします。この段階ですでに武器としての刀の基本性能は備わっていて、日本刀の全体の姿や肉置きを「鍛冶研ぎ」にて刀匠が整えます。最後に鑿で銘を切って刀匠の仕事は終わります。観賞用の刀になりますとこの後は研ぎ師のところに行って下地研ぎからハバキと白鞘を着けたあと、仕上げ研ぎをして刀は完成となります。この後、製作年紀が入って刀匠が都道府県の教育委員会に登録をして完了となります、この間おおよそ1年間の期間を要します。

爾比久良玉鋼会 玉鋼刃物を造る会を実施します

日時 **2010年5月29日～30日（土日） 午前10時～16時**

竹花繁久日本刀鍛錬所にて実施。参加希望者は、事務局・鍛錬所まで連絡の上先着順にて若干名募集とさせていただきます。



日本刀の製作と同じ行程にてご希望の刃物造りを刀匠がご指導させていただきます。洋式のナイフブレードから和式の切出、小刀、小柄等多様に対応いたします。今回も前年と同じく2日間の日程をとっておりますのでそれぞれのご希望に沿った形（鍛錬過程から）で実施できます。なお、実施日の1ヶ月前までには仕様を決定、入金をもって準備にかかります。なお詳細は過去の実施内容をHPにてご確認ください。

1. 参加費 7万円 ブレード及び研ぎ代、送料を含みます。

昼食と懇親会（土）の入浴・飲食代は当方にてご用意させていただきます。

2. 見学について

見学は可能です、事務局までお問い合わせ願います。

3. 交通・その他

鍛錬所は池袋から急行59分、駅徒歩10分。所用などで参加不能となった場合でもご希望に沿う形でブレード等を製作いたします。

